

■カラー作品



戦争のばかたれ  
原爆のばかたれ  
ひとりぼっちのわんぱくゲン  
駈けよ生きぬけ 何ンにもめげず！

原作 中沢啓治(汐文社刊)

製作・脚本・監督 山田典吾 製作協力 山田火砂子

撮影監督 安承玖 音楽監督 渋谷 毅 美術 青野重一 照明 山本嘉治 編集 沼崎梅子 助監督 石山昭信 製作担当 宮川孝至

●監修 映画『はだしのゲン』製作と上映を成功させる会

■三国連太郎 左幸子 佐藤健太 小松陽太郎 石松宏和 吉田義夫 牧伸二 陶隆司 草薙幸一郎 大泉滉 島田順司 坂本新平 大関優子 曾我廼家三三



「はだしのゲン」上映会 入場無料 各会場先着 40名

日時 7月29日(日) 13時～ 日時 8月5日(日) 13時～

会場 高根台公民館第4集会室 会場 二和公民館音楽室

主催 原爆の絵展・平和の集い実行委員会 (461-1350)

# はだしのゲン

(一部)

上映時間 107分

## スタッフ

原作……………中沢啓治  
(汐文社刊)  
製作……………現代びろだくしよん  
監督・脚本……………山田典吾  
プロデューサー……………山田火砂子  
撮影監督……………安承玟  
音楽監督……………渋谷毅  
美術……………育重一  
照明……………山本嘉治  
編集……………沼崎梅子  
助監督……………石山昭信  
製作担当……………宮川孝至  
作曲……………渋谷毅  
唄……………朝谷  
配給……………北星株式会社

## キャスト

中岡大吉……………三國連太郎  
中岡君江……………左幸子  
中岡ゲン……………佐藤健太  
中原進次……………石松宏和  
中岡英子……………岩原千寿子  
中岡浩二……………小松陽太郎  
中岡昭……………箕島雪弥  
朴……………島田順司  
町内会長……………曾我廼家一二三  
特高……………草薙幸二郎  
特高……………江角英明  
大西……………陶隆司  
広瀬先生……………梅津栄  
沼田先生……………大泉滉  
岸先生……………坂本新兵  
校長……………野々浩介  
医者……………中村公三郎  
農民……………公門義武  
農民……………利根義郎  
屋敷の主人……………吉田義夫  
堀川の妻……………堀井永子  
町内会長夫人……………松井康子  
大里先生……………大関優子  
堀川ガラス店主……………牧伸二

## ◆解説

わんぱく少年ゲンの姿を生き生きと描き、戦争のむごさ、恐ろしさを、まざまざと刻み付けておおきな反響を呼び起こしている中沢啓治原作の劇画「はだしのゲン」の映画化。

## ◆物語

わんぱく盛りの中岡元(ゲン)は、国民学校2年生の男の子。いつも弟の進次を従えて、憎めない悪童ぶりを思う存分に発揮していた。一九四五年(昭和20年)4月、太平洋戦争も終わりの頃、広島市は昼間からB29爆撃機の空襲にさらされていた。ゲンの父は戦争に批判的で、五人の子どもたちと母の君江は、町内の人々から非国民とのしられながら、苦しい生活にじっと耐えていた。ゲンは学校で意地悪され、姉の英子も泥棒あつかいされる始末。長男の浩二は、こうした妹や弟たちの屈辱を見るに見かねて、両親が止めるのも聞かず、自ら予科練に志願、海軍航空隊に身を投じていった。一九四五年(昭和20年)8月6日、午前8時15分。B29爆撃機が上空に現われた瞬間、まるで太陽がまるごと落ちたような強烈な光りと大爆発が起こり、巨大なきのこ雲がいつきに広がった。ちょうど塀の陰にいたゲンは運良く助かったが、町は猛火と黒煙に包まれ、その姿を一変させていた。焼けただれた町の中を夢中で家に駆け戻ったゲンが見たのは、爆風で倒れた家の下敷きになって動けない父の大吉、英子、進次の姿だった。父と姉、弟を失った一週間後、ゲンにも、被爆症状があらわれた。一九四五年(昭和20年)8月15日、敗戦。廃墟となった町を、住む所と食料を求めてゲンと母の君江がリヤカーを引いていく。

## ヒバクシャが描き残した **原爆の絵展** 入場無料

日時 **7月28日(土)～29日(日)**

会場 **高根台公民館** 1階ロビー

日時 **8月4日(土)～5日(日)**

会場 **二和公民館** 3階ロビー



開場時間 10時～17時

主催 原爆の絵展・平和の集い実行委員会 (461-1350)